



主催：一般社団法人 関西建築構造設計事務所協会
 後援：一般社団法人 日本建築構造設計事務所協会連合会（FASA）
 後援：一般社団法人 日本建築構造技術者協会（JSCA）関西支部

第 43 回 公開講演会報告

報告日 2017年10月26日

会 長 西 邦 弘

技術委員会委員長 横田 友行

第43回公開講演会が、2017年10月26日に大阪市内建設交流会館8階グリーンホールにて開催されました。多数の参加者が集まる中、西会長の主催者挨拶から始まり、講演会は、熊本地震の被害調査結果を基に耐震補強の評価をおこなうべき、日本建築防災協会に設置された「耐震補強された鉄筋コンクリート造建築物が有する耐震性能の実力評価に関する研究会」から東京大学地震研究所災害科学系研究部門・准教授である楠浩一先生にご講演頂きました。



本業を行う上で、大変興味深い内容であり、耐震補強の効果についても確認されました。質疑応答においても白熱した意見交換がなされ、有意義な時間でありました。

講演は、「耐震補強された鉄筋コンクリート造建築物が有する耐震性能の実力評価」と題して、熊本地震の被害調査結果を基に、被害程度の差から上部構造の被害が低減される要因、耐震補強されたRC造建築物が有する耐震性について現時点で得られた知見を発表頂きました。



ご参加頂きました皆様にとって有益な講演であったことを切に願います。また、会員の皆様のご協力を得て円滑に開催することができました事、改めて感謝申し上げます。

対象者 建築構造関係者

参加費 無料

参加者 約150名

